

「 岐阜県発日本一、世界一 ~7月~ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第49回全日本学生選手権自転車競技大会 男子タンデム・スプリント	1位	H20.7.6	大場政登志・山田純也 (朝日大2年)		息の合った、安定したスプリントで2位の鹿屋体育大を突き放し、優勝を決めた。 (静岡県下田市:日本サイクルスポーツセンター)
女子15kmポイントレース	1位	H20.7.6	明珍裕子 (朝日大1年)		トータルポイント22で2位以下を大きく突き放した。 (同上)
第41回全日本6人制バレーボール実業団 男女優勝大会 女子	2位	H20.7.13	JAぎふ		接戦を制しての決勝進出であったが、決勝では三菱東京UFJ銀行にストレートで敗れ、涙を飲んだ。 (沖縄県西原町:西原町民体育館)
内閣総理大臣杯 第25回全日本世代交流ゲートボール大会	1位	H20.7.21	まくわチーム		世代のギャップを感じさせないチームワークで参加48チームの頂点に立った。 (埼玉県熊谷市:熊谷スポーツ文化公園 彩の国くまがやドーム)
第21回全国少年フェンシング大会 男子小学3.4年フルーレ	1位	H20.7.27	鈴村健太 (はしまモアC・茜部小4年)		それぞれ予選プールを好成績で通過し、決勝トーナメントでは勢いに乗った試合展開で見事頂点に立った。 (京都府乙訓郡:大山崎町体育館)
女子中学生フルーレ	1位	H20.7.27	川村理紗 (大垣JFC・揖斐川中3年)		
女子小学5・6年フルーレ	1位	H20.7.27	伊藤真希 (大垣JFC・福束小6年)		
第53回全日本実業団ソフトテニス 選手権大会 男子	2位	H20.7.27	大鹿印刷A		決勝戦ではファイナルまでもつれる大接戦であったが、惜しくも2連覇はならなかった。 (新潟県上越市:上越総合運動公園テニスコート)
平成20年度全国高等学校ライフル射撃競技 選手権大会 チーム・ライフル立射40発競技女子団体	1位	H20.7.31	済美高 (宮川恵実・橋香奈依・松原詩織)		混戦であったが、こころ一番の集中力を発揮し、3年ぶり4度目の優勝を決めた。 (広島県山県郡:つつがライフル射撃場)
チーム・ライフル立射40発競技女子個人	3位	H20.7.31	松原詩織 (済美高2年)		安定した力で、団体戦優勝の立役者としてチームを引っ張った。 (同上)
10mエア・ライフル立射60発競技男子団体	3位	H20.7.31	郡上北 (西野雄紀・山田直樹・尾藤俊介)		最後まで集中した試合運びで健闘した。(同上)
平成20年度全国高等学校総合体育大会 陸上競技 男子走り幅跳び	2位	H20.7.31	長尾勇佑 (斐太高3年)		初の全国大会であったが、気負わず、見事自己ベストを4cm更新しての第2位であった。 (埼玉県熊谷市:熊谷スポーツ文化公園陸上競技場)
弓道競技 女子団体	3位	H20.7.31	岐阜総合学園高 (長屋恵・小野木希望・堀杏香 角紗織・堀部ともみ)		3位決定戦では9 - 8の接戦を制し、県勢としては最高位の3位となった。合わせて技能優秀校にも選ばれた。 (埼玉県川越市:川越運動公園総合体育館)